

# GAP<sup>キ ャ ッ</sup>とは

正式名称: Good Agricultural Practice

日本語: 農業生産工程管理

GAPとは、農業生産が持続できるように、食品安全・環境保全・労働安全などの観点から、点検項目を定めて農業生産を適正に実施し、安全で品質のよい農産物を生産する生産工程管理の取り組みのこと。

## ● GLOBAL G.A.P.

ドイツの Food PLUS GmbH が運営しており、世界120カ国以上に普及している 国際水準。

- ・ 項目数 約220項目
- ・ 費用 25 ~ 55万円 + 旅費
- ・ 対象項目 農作物: 青果物、コンバイン作物(穀物など)、茶、花きと観賞用植物、種苗  
水産養殖: 魚類、甲殻類、貝類

## ● ASIAGAP

一般財団法人 日本GAP協会が運営しており、HACCPをベースとした考え方を取り入れている。

- ・ 項目数 約160項目
- ・ 費用 10万円 + 旅費
- ・ 対象項目 青果物、茶、穀物

# GAP<sup>フ</sup>とは

## ● JGAP

一般財団法人 日本GAP協会が運営している。日本独自のGAP認証で、第三者認証の中では最も取り組みやすい、国内向けのもの。

- ・ 項目数 約120項目
- ・ 費用 5 ~ 10万円
- ・ 対象項目 青果物、茶、穀物

## 《GAPの取り組み例》

- ・ 食品安全 ... 異物混入の防止、農薬の適正使用と保管、来訪者への衛生指導 など
- ・ 環境保全 ... 適切な追肥、土壌侵食の防止、廃棄物の適正処理・利用 など
- ・ 労働安全 ... 機械の設備の点検・整備、作業安全用の保護具の着用 など
- ・ 人権保護 ... 家族経営協定の締結、技能実習生の作業条件遵守 など
- ・ 農業経営管理 ... 責任者の配置、教育訓練の実施、内部点検の実施 など
- ・ その他 ... 商品回収テストの実施、資材仕入先の評価 など